

- 問1 青森県の産業構造について述べた文として、統計データの「第1次産業の就業者割合が13.2%」「漁業生産量が約17万トン」という数値の背景を最も適切に説明しているものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 広大な土地を活かした大規模な畑作や酪農が中心であり、漁業生産量よりも農業出荷額の規模が全国で圧倒的な首位にある。 | 2. 冷涼な気候を活かしたリンゴ栽培などの果樹農業や、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした水産業が地域経済の基盤となっている。 | 3. 太平洋側に位置する工業地域の一部として、輸送用機械などの製造業が発達しており、第2次産業が就業人口の大部分を占めている。 | 4. 人口密度が非常に高く、県庁所在地へのサービス業や商業の集中が進んでいるため、第3次産業の割合が周辺の県に比べて突出している。 |
|---|--|---|---|
- 問2 仙台市の各区の人口データを比較した際、太白区は夜間人口が約23.5万人であるのに対し、昼間人口は約19.5万人と少なくなっています。このような人口動態の傾向が見られる地域について、その名称と主な要因の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 農村地域としての性格を持ち、高齢化の影響によって昼間の農作業に従事する人口が減少しているため | 2. 工業地域としての性格を持ち、大規模な工場群で働くために昼間に多くの労働者が集まるため。 | 3. 郊外のベッドタウンとしての性格を持ち、多くの住民が通勤や通学のために都心部へ移動するため。 | 4. 都心の商業地としての性格を持ち、昼間に多くの買い物客や労働者が周辺から流入するため。 |
|---|--|--|---|
- 問3 秋田県にある八郎潟という湖を干拓して誕生した大潟村では、日本の平均的な農家と比べて一戸あたりの耕地面積が極めて広く、大型の農業機械を効率的に活用した生産が行われています。このような大潟村で行われている農業の形態を何と呼びますか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 小規模経営 | 2. 施設園芸農業 | 3. 大規模農業 | 4. 自給的農業 |
|----------|-----------|----------|----------|
- 問4 東北地方の6県について、面積や農業生産額をまとめた統計資料を確認すると、県の名称と県庁所在地の名称が異なる県がいくつか存在することがわかります。岩手県と宮城県における県庁所在地の名称の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1. 岩手県 ― 盛岡市、宮城県 ― 仙台市 | 2. 岩手県 ― 盛岡市、宮城県 ― 宮城市 | 3. 岩手県 ― 岩手市、宮城県 ― 仙台市 | 4. 岩手県 ― 花巻市、宮城県 ― 石巻市 |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
- 問5 1993年の夏季、青森県八戸市などの東北地方太平洋側では、7月および8月の月別日照時間が平年値を大きく下回り、月平均気温も平年より大幅に低い記録的な異常気象となりました。この気象条件が日本の農業に与えた影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 梅雨前線の活動が活発で降水量が平年を大きく上回ったため、大規模な洪水被害が発生した。 | 2. 台風の接近数が平年よりも多かったため、強風によって収穫直前の果実が落下する被害が出た。 | 3. 日照不足と低温によって稲の生育が著しく妨げられ、記録的な不作（冷害）となった。 | 4. 日照時間は短かったものの気温は平年より高かったため、病害虫が発生して野菜の価格が高騰した。 |
|---|--|--|--|
- 問6 北海道東部の根釧台地は、夏でも気温が上がりにくく霧が発生しやすい気候条件や、火山灰に覆われた土地という特徴があります。このような自然環境を活かして、この地域で最も盛んに行われている産業の説明として正しいものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 大規模な機械化によって、ジャガイモや小麦、甜菜（てんさい）などを生産する畑作が中心となっている。 | 2. 泥炭地を客土（他の場所から土を運び入れること）によって改良し、大規模な水田による稲作が行われている。 | 3. 広大な土地に牧草地を整備し、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農が盛んに行われている。 | 4. 冬の寒さを活かしたビニールハウス栽培が行われ、夏に都市部へ出荷する抑制栽培が発達している。 |
|---|---|--|--|
- 問7 東北地方の太平洋側に位置し、複雑な海岸線を持つリアス海岸がある岩手県の地理的・産業的特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 最上川の下流に広がる庄内平野を中心に、全国有数の稲作地帯となっている | 2. 波が穏やかな入り江の環境を利用して、かきやわかめなどの養殖が盛んである | 3. 奥羽山脈の西側に位置し、季節風の影響で冬は世界的な豪雪地帯となる | 4. 対馬海流の影響を強く受けるため、冬でも雪が降らず温暖な気候である |
|---------------------------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問8 北陸地方の石川県に位置し、江戸時代には加賀藩の拠点として栄えた都市Xは、現在も県庁所在地となっている。この都市Xの成り立ちを示す都市形態として最も適切なものはどれか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 城下町 | 2. 門前町 | 3. 港町 | 4. 宿場町 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問9 東北地方の中央を走る奥羽山脈を挟んだ、日本海側の秋田市と太平洋側の宮古市の気候の違いについて説明した文として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|---|---|
| 1. 冬の降水量は季節風の影響を受ける秋田市の方が多く、夏の平均気温はやませの影響を受ける宮古市の方が低い。 | 2. 冬の降水量も夏の平均気温も、日本海側に位置する秋田市の方が低い。 | 3. 年間を通じた降水量は宮古市の方が多く、夏の平均気温は秋田市と宮古市でまったく同じである。 | 4. 冬の降水量は太平洋側の宮古市の方が多く、夏の平均気温は秋田市の方が低い。 |
|--|-------------------------------------|---|---|
- 問10 東北地方の日本海側では冬に多くの降雪が見られるのに対し、奥羽山脈などの山々に囲まれた内陸部では、沿岸部と比較して年間の降水量が少なくなる傾向があります。このように内陸部で降水量が少なくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 暖流である日本海流の影響が山脈によって遮られてしまうため | 2. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響を最も強く受けるため | 3. 内陸部は標高が高く、年間を通して上昇気流が発生しにくいから | 4. 湿った空気が山脈を越える際に雨や雪として水分を放出するため |
|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
- 問11 東北地方の中央部を南北に約500kmにわたって走り、日本で最も長い距離を持つ山脈の名称として正しいものを選んでください。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 越後山脈 | 2. 出羽山地 | 3. 奥羽山脈 | 4. 北上高地 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 東北地方の産業について述べた次の文章の空欄にあてはまる名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「この県では、江戸時代から続く鋳物の技術を活かした（ ① ）が伝統的工芸品として生産されている。地理的には宮城県と青森県の間に位置しており、（ ② ）県である。」 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-----------------|----------------|----------------|
| 1. ① 樺細工 ② 秋田 | 2. ① 天童将棋駒 ② 山形 | 3. ① 南部鉄器 ② 秋田 | 4. ① 南部鉄器 ② 岩手 |
|---------------|-----------------|----------------|----------------|
- 問13 東北地方の太平洋側に位置するある県は、その海岸線北部に、山地が沈み込んで形成された複雑な入り江を持つ三陸海岸を有しています。この県の名前として正しいものを選んでください。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 福島県 | 2. 宮城県 | 3. 岩手県 | 4. 青森県 |
|--------|--------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 冷涼な気候を活かしたリンゴ栽培などの果樹農業や、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした水産業が地域経済の基盤となっている。	青森県は三方を海（日本海、太平洋、津軽海峡）に囲まれており、暖流と寒流が交わる好漁場に近いことから漁業生産量が多くなっています。また、やませの影響を受ける冷涼な気候はリンゴ栽培に適しており、これらの第1次産業が盛んなのが、統計における就業者割合の高さに直結しています。静岡県のような工業出荷額の大きさや、北海道のような圧倒的な面積による生産規模とは異なる、東北地方特有の産業構造を理解することが重要です。
問2	答え 3 郊外のベッドタウンとしての性格を持ち、多くの住民が通勤や通学のために都心部へ移動するため。	太白区のように夜間人口（居住者数）に比べて昼間人口が少ない地域は、主に住宅機能を中心とした「ベッドタウン」としての性格が強いことがわかります。これは、朝に居住地を出て都心部の職場や学校へ移動し、夜に帰宅するという人口流動が発生しているためです。一方、宮城野区のように昼間人口の方が多くなる地域は、商業や業務が集中する拠点としての役割を持っています。
問3	答え 3 大規模農業	大潟村は、かつて日本で2番目に広がった湖である八郎潟を干拓して造られた土地です。計画的に農地が割り当てられたため、農家一戸あたりの耕地面積が全国平均と比べて圧倒的に広く、大型トラクターやコンバインなどを導入した「大規模農業」が発達しました。これにより、一戸あたりの農業産出額も全国平均を大きく上回る特徴があります。
問4	答え 1 岩手県 ― 盛岡市、宮城県 ― 仙台市	東北地方の6県のうち、青森県（青森市）、秋田県（秋田市）、山形県（山形市）、福島県（福島市）の4県は県名と県庁所在地名が一致しています。一方で、岩手県は盛岡市、宮城県は仙台市が県庁所在地となっており、県名と都市名が異なります。仙台市は東北地方唯一の政令指定都市であり、行政や経済の中心地としての役割を担っています。
問5	答え 3 日照不足と低温によって稲の生育が著しく妨げられ、記録的な米の不作（冷害）となった。	1993年は「平成の米騒動」と呼ばれるほど深刻な冷害が発生した年です。統計資料によると、東北地方の太平洋側を中心に、夏場の日照時間が平年の半分程度まで落ち込み、気温も平年より2～3度低い状態が続きました。これにより、主食である稲の開花や実りに必要な熱量・光が不足し、収穫量が激減しました。この不足分を補うために、タイなどから緊急で米を輸入する事態となりました。
問6	答え 3 広大な土地に牧草地を整備し、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農が盛んに行われている。	根釧台地は冷涼な気候と火山灰土壌のため、稲作や一般的な畑作には不向きですが、牧草の生育には適しています。そのため、広大な土地を利用した大規模な酪農が発達しました。十勝平野で行われている大規模な畑作との違いを理解しておくことが重要です。
問7	答え 2 波が穏やかな入り江の環境を利用して、かきやわかめなどの養殖が盛んである	岩手県は東北地方の太平洋側にあり、特に南部沿岸のリアス海岸はその形状から天然の良港となりやすく、波が静かな入り江が多いため、古くから水産養殖業の拠点として発展してきました。他の選択肢は山形県（稲作）や秋田県（日本海側の気候）などの特徴です。
問8	答え 1 城下町	石川県の県庁所在地である金沢市は、加賀藩の城である金沢城を中心に発展した代表的な城下町である。長野県の長野市のような門前町（寺社の門前に形成）や、物資の輸送拠点で発達する港町とは区別して理解する必要がある。
問9	答え 1 冬の降水量は季節風の影響を受ける秋田市の方が多く、夏の平均気温はやませの影響を受ける宮古市の方が低い。	秋田市は冬に北西の季節風の影響を受けて降水量（降雪量）が多くなります。一方、宮古市は夏に冷たく湿った風（やませ）が吹き込むため、奥羽山脈の西側にある秋田市に比べて夏の平均気温が低くなる傾向があります。
問10	答え 4 湿った空気が山脈を越える際に雨や雪として水分を放出するため	東北地方の中央部を南北に走る奥羽山脈などの高い山々は、海から吹き込む湿った空気の進行を妨げる壁の役割を果たします。湿った空気が山を越える際に、斜面で上昇して雲を発達させ、雨や雪を降らせるため、山を越えた後の空気は乾燥します。このため、周囲を山に囲まれた内陸部の盆地などでは、沿岸部に比べて年間の降水量が少なくなります。
問11	答え 3 奥羽山脈	東北地方の「脊梁（せきりょう）」とも呼ばれ、青森県から福島県を経て栃木県境まで連なる日本最長の山脈です。西側にある出羽山地や、東側にある北上高地と位置関係を区別して覚える必要があります。
問12	答え 4 ① 南部鉄器 ② 岩手	岩手県では、盛岡市や奥州市を中心に「南部鉄器」の生産が盛んです。岩手県は東北地方の太平洋側に位置し、南は宮城県、北は青森県と接しています。選択肢にある天童将棋駒は山形県、樺細工は秋田県の伝統的工芸品です。
問13	答え 3 岩手県	東北地方の太平洋側に面した岩手県の沿岸部は、北部に「リアス海岸」として知られる三陸海岸があります。この地域は水深が深く、親潮（寒流）と黒潮（暖流）がぶつかる潮目（潮境）に近いため、世界的な漁場として知られています。隣接する宮城県や青森県と混同されやすいですが、リアス海岸の代表的な地域として岩手県を特定することが重要です。